

13 基地返還アクションプログラム（素案）

「基地返還アクションプログラム」は、①「国際都市形成構想」との関連、②これまでの返還要望状況、③市町村跡地利用計画の熟度、④市町村の意向等を総合的に勘案し、米軍基地の返還を第1期から第3期の3段階に区分し、当該期間内で跡地利用計画に基づく事業着手の目途付けができるよう、計画的かつ段階的な返還を求めるもので、本県に所在する全ての米軍基地を2015年までに返還することを求めた当時の県政の考え方をまとめたものである。

返還の期間別施設名一覧表

返還の期間	施設数	施設名
第1期 (～2001年)	10	①那覇港湾施設 ②普天間飛行場 ③工兵隊事務所 ④キャンプ桑江（施設一部） ⑤知花サイト ⑥読谷補助飛行場 ⑦天願棧橋 ⑧ギンバル訓練場 ⑨金武ブルー・ビーチ訓練場 ⑩奥間レスト・センター
第2期 (2002年～2010年)	14	①牧港補給地区 ②キャンプ瑞慶覧 ③キャンプ桑江 ④泡瀬通信施設 ⑤楚辺通信所 ⑥トリイ通信施設 ⑦瀬名波通信施設 ⑧辺野古弾薬庫 ⑨慶佐次通信所 ⑩キャンプ・コートニー ⑪キャンプ・マクトリアス ⑫八重岳通信所 ⑬安波訓練場 ⑭北部訓練場
第3期 (2011年～2015年)	17	①嘉手納飛行場 ②嘉手納弾薬庫地区 ③キャンプ・シールズ ④陸軍貯油施設 ⑤キャンプ・シュワブ ⑥キャンプ・ハンセン ⑦伊江島補助飛行場 ⑧金武レッド・ビーチ訓練場 ⑨ホワイト・ビーチ地区 ⑩浮原島訓練場 ⑪津堅島訓練場 ⑫鳥島射爆撃場 ⑬出砂島射爆撃場 ⑭久米島射爆撃場 ⑮黄尾嶼射爆撃場 ⑯赤尾嶼射爆撃場 ⑰沖大東島射爆撃場
計	41	※キャンプ桑江は、第1期と第2期に分けて重複計上